

埼玉県議会議員

深谷けんじ

2022年
2月
第11号



新型コロナ対策 医療現場の声から 県動かす ワクチン3回 迅速に

昨年12月25日
埼玉医科大学総合医療センター
でのブースター接種を視察

昨年9月29日・11月25日・12月25日
埼玉医科大学総合医療センター 岡秀昭教授(感染症専門医)と意見交換



令和3年
12月定例会

「第6波」医療体制の強化と経済再生支援

新型コロナ

県が11月中旬、新型コロナウイルス患者を受け入れていた医療機関に「入院調整依頼のルール」を通知したことが明らかになった。病床使用率が低い病院から優先して患者の受け入れを要請を行うという。17日に行われた県議会コロナ特別委員会で深谷顕史議員(公明)の質問に、県側が答弁した。

県、入院調整で「ルール」

病床使用率 低い病院から依頼

医療体制が逼迫した「第5波」では、一部医療機関では病床使用率が低いにもかかわらず、入院できずに自宅療養中に死亡する患者が相次いだことが問題となった。政府も「感染拡大時の病床稼働率を8割超まで引き上げる」と述べている。

各病院の病床使用率にはばらつきがあることが昨年末ごろから県議会でも指摘されており、関本建二・保健医療部長は「できるだけ

分散させるオペレーションを努力している」と答弁していた。だが、今夏の第5波でも再びばらつきが見られた。県は病床使用率を上げるため、今回、使用率が低い病院から患者の受け入れの要請を行うというルールを明文化した。入院調整を担う県調整本部が、重症や中等症から回復傾向にある患者を軽症用病床に転院させる調整もするという。

【驚頭彰子】

令和4年も、深谷けんじは県民の皆様のため、地域のために、「現場第一主義」で活動してまいります。

埼玉県議会12月定例会は12月2日～22日までの会期で行われ、419億3,300万円あまりの一般会計補正予算案が全会一致で可決されました。

補正予算では、ポストコロナを見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援が盛り込まれ、主なものとしてキャッシュレス決済端末の導入補助など商店街への支援や、観光支援策などを行います。

加えて、コロナ禍で影響を受けている「県産米」をはじめとした県産農産物の消費拡大を図るため、量販店等が県産農産物を使ったキャンペーンを実施する際に使用する食材費やPR費を補助し、農業生産者への支援につなげていきます。

医療提供体制は、新規陽性患者の急激な増加に対応できるよう強化します。コロナ病床は最大2,176床を確保しますが、実効性のある病床となるよう、医師・看護師への研修制度である「トレーナー派遣等事業」の活用をさらに進めます。また、第5波における重症病床逼迫の教訓から、県入院調整本部が回復期にある患者の転院調整を行います。この仕組みは深谷けんじが新型コロナ対策特別委員会の中で求めてきたことで、12月17日に開催された同委員会で県が明らかにし、翌日の毎日新聞に報道されました。

▲令和3年12月18日付 毎日新聞

埼玉県南部ワクチン接種センターにおける追加(3回目)接種の開始

インターネットからご予約いただけます

受付開始 令和4年1月25日(火) 16時から

スマートフォンからのご予約
右のQRコードより予約サイトへ



パソコンからのご予約
埼玉県ホームページより予約サイトへ

埼玉県南部ワクチン接種センター 検索

対象者

- 県内全域の3回目接種対象者(3回目接種券をお持ちの方)
- 2月～ 接種間隔7か月以上の高齢者(施設入所者等以外)を中心に接種
未接種の医療従事者等の接種も受け付けます
- 3月～ 接種間隔7か月以上の64歳以下の方にも接種

開始予定日 令和4年2月1日(火)～(土日祝日も稼働)

接種会場 埼玉県南部ワクチン接種センター

【埼玉県浦和合同庁舎(JR北浦和駅徒歩10分)】

ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン

接種人数 1日最大1,000人程度を想定

相談窓口(※電話でのご予約はできません)

0570-071-077

令和3年12月定例会 県立高体育館 エアコン本設置も検討

災害時に避難所にもなる県立高校体育館へのエアコン本設置は、公明党県議団が強く求めている政策の一つです。しかしこれまで県は、災害時に可動式エアコンを調達し、体育館に設置するという方針を崩さず、計14校へ空調用電源盤の設置のみ完了しています。

昨年、そのうち6校で電源盤の調査を行い、6月の一般質問で**深谷けんじ**が、災害時に迅速なエアコン設置を可能とするために、「可動式エアコン設置訓練」の実施を強く求めた結果、8月に2校で実施。安藤ともき県議とともに猛暑のなか行われた訓練に立ち会い、機器搬入時に多くの人員が必要なことや、外気温差わずか1～2度で冷房効果が少ないことなど、様々な課題を目のあたりにしました。

徹底した現場調査をもとに、安藤ともき県議が12月の一般質問で鋭く問い質し、教育長からは「**災害時の活用可能性など費用対効果も踏まえ、エアコン本設置も選択肢に含めていく**」と、これまでの方針を転換する答弁がありました。防災・減災対策を重要政策に掲げる公明党県議団は、エアコン本設置へ向け全力を尽くしてまいります。

可動式エアコン 涼しくない

災害時避難所県立高体育館

災害時に避難所となる県立高校の体育館に可動式のエアコンを設置した。外気温と1～2度しか変わらず、暑いままだった。県教委が今夏、実施したエアコンの設置訓練で冷房効果を検証したところ、こんな結果が出た。高田県教育長は9日、「冷房効果を得るには訓練で使った機器よりも多くの機器が必要と多量に調達する必要がある」と、本設置を強く求める考えを明らかにした。

県立高校の体育館のエアコン設置を巡っては、これまで高田県教育長は「冷房効果を得るには訓練で使った機器よりも多くの機器が必要と多量に調達する必要がある」と、本設置を強く求める考えを明らかにした。

常設化転換も検討

県教委・設置訓練で検証 外気温差わずか1～2度

に携わるなど多くの人員も必要だった。クーラーは30日午前11時から稼働し、県は外気温と室内気温を測定して比較した。外気温34・2度に対し室内温度33・4度、30日午後5時15分、外気温32・4度に対し室内温度30・5度（31日午）を記録。訓練の扉を開閉を通し室内温度は1～2度しか涼しくならなかった。

設置訓練を観望した安藤ともき県議（公明党）は9日の県議会（公明党）の一般質問で「運び込むための人員が多く、有事の時に人員が確保できるのか疑問。冷房効果は高く、とにかく暑い。災害時には人も増え、より体感温度は上がる」と指摘。高田県教育長は「訓練を踏まえ、設置や冷房効果の課題を抽出し、解決策を幅広く検討したい」と答弁した。

令和3年12月14日付 毎日新聞

声をカタチに 小さな声を、聴く力。 地域要望が実現

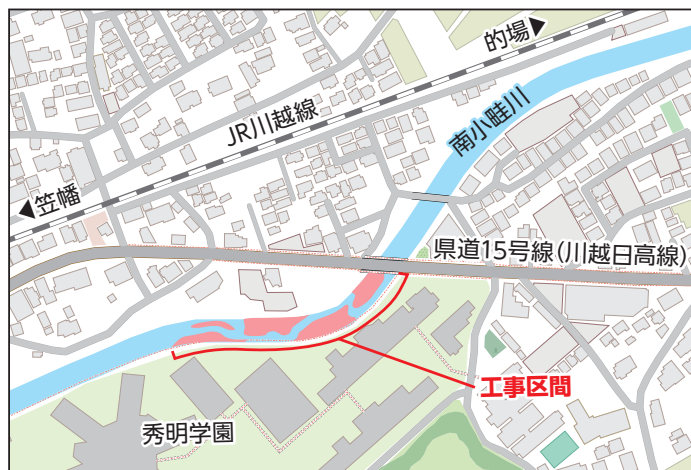
南小畔川の浚渫工事を推進



▲令和3年4月29日 倉ヶ谷戸堰水利組合の皆様より南小畔川浚渫の要望



▲令和3年12月15日 南小畔川緊急浚渫工事が行われ県職員、水利組合の皆様と現地調査



排水柵設置で水たまり解消



▲令和3年8月 県道川越日高線 笠幡付近

歩道・車道改修



横断歩道設置



▲令和3年3月 県道川越所沢線 新宿歩道橋下

ガードパイプ設置で通学路の安全確保



▲令和3年9月 県道川越北環状線 平塚橋東

歩道整備で歩行者の安全確保



▲令和3年3月 国道254号線(川越街道)藤間付近

深谷けんじ プロフィール
 1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳
 川越市出身
 東京農業大学第三高等学校卒
 創価大学文学部社会学科卒
 公明党県企業局長・青年局長

産業労働企業委員会 委員
 危機管理・大規模災害特別委員会 委員
 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員

[深谷けんじホームページ](#)



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室
 〒330-0063
 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
 TEL048-822-9606
 FAX048-822-9408

自宅事務所
 〒350-0015
 埼玉県川越市今泉88-14
 TEL049-236-2566
 FAX048-611-7393